

# 40<sup>th</sup> 1982-2022 Anniversary

TOKIWAKAI GROUP

# SDGs

ありがとう  
40周年  
繋ごう 未来の向こうへ



ときわ会グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



## ときわ会グループ SDGs 宣言



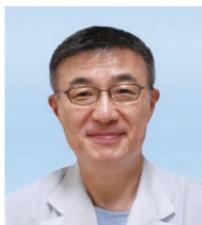
ときわ会グループは  
医療、介護、教育・保育を通して、  
「一山一家 地域の皆様と共に生きる」の理念のもと、  
地域住民の皆様の一人ひとりの心身の健康を支え、健康で活力のある、  
持続可能な「地域共生社会」の構築・発展を目指し、  
職員一丸となってSDGsに取り組みます。

「過去を変えることはできないし、変えようと思わない。なぜなら人生で変えることができるのは、自分と未来だけだからだ」  
福島に生まれ、やがて医療の未来を変えた医学者、野口英世がそう言いました。

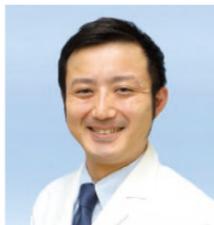
環境の悪化や社会の不均衡を積み重ねた過去は変えられませんが、それを教訓として自分と未来を変えて行く事は出来ます。私たちは自分たちなりの方法で少しずつSDGsの前進をしなければなりません。そう、「自分たちなりの方法」で。これこそが何より重要です。

SDGsは現実的な業務内容とかけ離れた大言壮語の色彩を帯びる事があり、最悪のケースではその大義名分で胡散臭い金儲けをしている方々すら存在します。

私たちは身の丈に合った「自分たちなりの方法」で、「実践しなければならないSDGs」ではなく「実践できるSDGs」を取捨選択していきましょう。これこそが持続的発展の本質であり、ときわ会が未来の子供達に貢献できる唯一の道であると私たちは確信しています。



ときわ会グループ 会長  
公益財団法人ときわ会 理事長  
ときわ みちお  
常盤 峻士



ときわ会グループ 副会長  
医療法人社団ときわ会 理事長  
ときわ すぐる  
常盤 傑

3 すべての人に  
健康と福祉を



### 国連目標

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

#### ときわ会の目標

すべての地域住民が安心した生活を送れるよう、グループ一丸となり地域に根ざした質の高い医療や福祉を展開します。そして人々の健康と尊厳を守ります。

#### ときわ会の取り組み

- 医療、介護、教育・保育事業を展開、継続します
- 地域住民の健康増進に向けた活動を積極的に行います



健康診断事業をはじめ、透析施設も多く展開し地域の皆様の安心・安全を守ります。



健康増進を図るという観点から、メディカルフィットネスジム・Re-Birthの経営も行ってまいります。

4 質の高い教育を  
みんなに



### 国連目標

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

#### ときわ会の目標

職員が一流の専門職としての誇りを持って働いていけるよう、知識や技術力向上といった自己研鑽の場を実現します。さらに、教育保育を通し、未来を担う子どもたちに世界に触れる学びの場を提供します。

#### ときわ会の取り組み

- 教育・保育事業を展開、継続します
- 子どもたちが教育を受けられる場を提供します



教育・保育事業として、いわき市内に幼稚園 1 施設、保育園を 2 施設展開しております。



また市内 2 施設で放課後児童クラブを運営し、0 歳～12 歳まで一貫した教育・保育の場を設けています。

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



### 国連目標

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女性のエンパワメントを図る

#### ときわ会の目標

すべての職員が性別の分け隔てなく存分に力を発揮し、のびのびと働くことのできる環境を整えます。

#### ときわ会の取り組み

- ユニセックスユニフォームを採用・着用します
- ジェンダーレスなキャリア形成を確立します



各施設で試用している制服は、全てユニセックスのデザインを採用しています。



将来を担っていく役職者向けに、ダイバーシティ経営について学ぶ研修を実施しております。

10 人や国の不平等  
をなくそう



### 国連目標

国内および国家間の格差を是正する

#### ときわ会の目標

障がいや国籍など様々なバリアを取り払うための環境を整え、多様な人材の雇用を推進します。

#### ときわ会の取り組み

- 障がい者雇用を推進します
- 特定技能人材の受け入れを行います
- 統合保育を実施します



EPA（経済連携協定）に基づき経済交流・連携強化の一環として、特例的に看護師候補者・介護福祉士候補者をベトナム・インドネシアより受け入れております。



技能実習にも力をいれており、中国からの介護職技能実習生の受け入れも行っております。

8 働きがいも  
経済成長も



### 国連目標

すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する

#### ときわ会の目標

職員が働きやすい職場環境づくりを目指します。働く人の権利を守り、地域から雇用を生み、誰もが安心して働ける組織作りを目指します。

#### ときわ会の取り組み

- 子育て支援体制を充実します
- 同一労働同一賃金を達成します
- 初期臨床研修医の受け入れを行います（基幹型）



共働きの職員も安心して働けるよう、お子様をお預かりする施設を複数保有しています。



臨床研修センターを有しており、連携して初期臨床研修医の育成を行っております。

11 住み続けられる  
まちづくりを



### 国連目標

都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする

#### ときわ会の目標

地域の課題解決こそが次の世界に繋がると信じ、東日本大震災の影響が今なお残る浜通りを中心に、医療・介護・教育という基盤を担い、地域づくりに取り組みます。

#### ときわ会の取り組み

- 震災の影響を受けた地域での事業運営を行います
- 当該地域での雇用を提供・斡旋します
- 初期臨床研修医の受け入れを行います（基幹型）



広野町や富岡町の事業所を指定管理者として運営し、住民の方に介護・福祉を提供しています。



富岡クリニックや椿葉ときわ苑等、避難指示区域の事業所をいわき市に移設しました。

12 つくる責任  
つかう責任



### 国連目標

持続可能な消費と生産のパターンを確保する

#### ときわ会の目標

日々使用する機器や施設を大切に利用・点検・改修を行うとともに、地域に向けた発信も行います。

#### ときわ会の取り組み

- 単回医療使用機器等を適正に使用します
- 計画的な施設の点検、改修を実施します
- フードロスを防ぎます



定期的な施設点検を行い、施設の安全な保守を徹底しています。



富岡町の Re-birth Cafe では、いわき市内で廃棄となる果物を使用したスムージーを販売しております。

16 平和と公正を  
すべての人に



### 国連目標

持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

#### ときわ会の目標

虐待やハラスメントを防止するため、窓口の設置や部会の開催を行います。また、健康経営優良法人認定を目指します。

#### ときわ会の取り組み

- 健康経営優良法人認定を目指します
- 虐待防止体制を確立・対応します
- ハラスメントを禁止し、相談窓口を設置・対応します



定期的な部会を開催し、ハラスメント防止等の予防に努めています。



虐待・ハラスメントの防止等を目的として、誰でも投函できる意見箱を設置しています。

13 気候変動に  
具体的な対策を



### 国連目標

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

#### ときわ会の目標

医療、介護、教育・保育を支えるためのインフラを整えていく上で、カーボンニュートラルの視点を忘れません。また、東日本大震災の経験を活かし、災害が発生してもそれを乗り越えられる力を蓄えます。

#### ときわ会の取り組み

- クールビズを推奨します
- 避難所を提供・設置します
- 災害対策チームを設置・対応します



クールビズの一環として、「フラシティいわき」の象徴であるアロハシャツを着用しています。



東日本大震災の経験を忘れず、避難訓練を各施設で実施しております。

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



### 国連目標

持続可能な開発に向けて、実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる

#### ときわ会の目標

地域住民や関係機関と、事業基盤の多様性を強みとした連携の推進に努め、地域、社会の課題解決に貢献します。

#### ときわ会の取り組み

- 自治体と協定締結し、行政と連携します
- 地域医療連携推進法人の活動を推進します
- 指定管理者を受託し、施設運営を行います



東日本大震災の影響が残る浜通り地区の地域住民に対し、透析技術の標準化による質の向上を目指す連携モデルとして、地域医療連携推進法人を設立しました。



広野町・花ぶさ苑、富岡町・さくらの郷の指定管理を受託しております。

# 持続可能な開発目標「SDGs」とは？

## SDGsとは

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。



## SDGsの特徴

前身のMDGs(Millennium Development Goals:ミレニアム開発目標)は主として開発途上国向けの目標でしたが、SDGsは、先進国も含め、全ての国が取り組むべき普遍的(ユニバーサル)な目標となっています。しかしながら、これらの目標は、各国政府による取り組みだけでは達成が困難です。企業や地方自治体、アカデミアや市民社会、そして一人ひとりに至るまで、すべてのひとの行動が求められる点がSDGsの大きな特徴です。まさにSDGs達成のカギは、一人ひとりの行動に委ねられているのです。

## 人間の安全保障との関連性

我が国は脆弱な立場にある一人一人に焦点を当てる「人間の安全保障」の考え方を国際社会で長年主導してきました。「誰一人取り残さない」というSDGsの理念は、こうした考え方とも一致するものです。

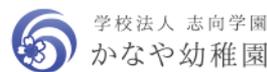
## SDGs達成に向けて

2019年9月に開催された「SDGsサミット」で、グテーレス国連事務総長は、「取り組みは進展したが、達成状況には偏りや遅れがあり、あるべき姿からはほど遠く、今、取り組みを拡大・加速しなければならない。2030年までをSDGs達成に向けた『行動の10年』とする必要がある」とSDGsの進捗に危機感を表明しました。

2020年、新型コロナウイルス感染症が瞬く間に地球規模で拡大したことからも明らかのように、グローバル化が進んだ現代においては、国境を越えて影響を及ぼす課題に、より一層、国際社会が団結して取り組む必要があります。SDGs達成に向けた道りは決して明るいものではありません。だからこそ、「行動の10年」に突入した今、私たち一人ひとりにできることをしっかりと考え、一歩踏み出す姿勢が求められています。



## TOKIWAKAI GROUP



地域医療連携推進法人  
ふくしま浜通り・メディカル・アソシエーション



〒971-8112 福島県いわき市小名浜南富岡富士前 50  
TEL 0246-85-5899